

平成二十三年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2月募集】入学試験問題

講 座	日本・アジア言語文化論
専門科目2	各国語文献読解・日本文学選択

問題 次の資料は元禄八年に刊行された読み物の序文である。なお、この序文の執筆者はこの読み物の出版者であつて作者ではない。これを読んで後の問一から問四に答えなさい。

(注 「次の資料」とは、『西鶴俗つれづれ』(古典文庫第三十九冊 西鶴本複製十一、昭和二十五年)三頁・六頁である。)

問一 この序文の前半七行を翻字しなさい。その際、原文通りに改行し、適宜濁点・句読点を付すこと。

問二 この序文を書き綴るのに踏まえられ利用された古典作品の題名を漢字で記しなさい。

問三 一〇行めに「彼法師」と言われている人物の氏名を記しなさい。

問四 この序文を冠して刊行された作品の作者名と作品名、およびそのジャンル名を記しなさい。